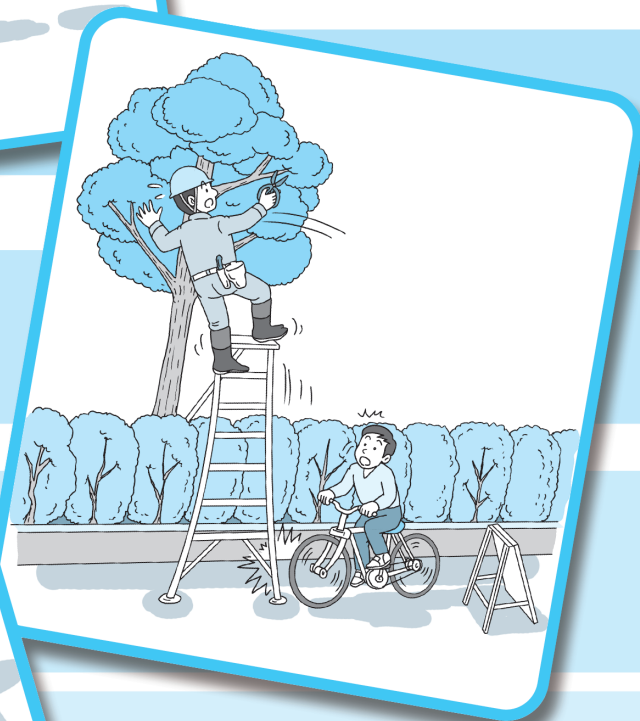
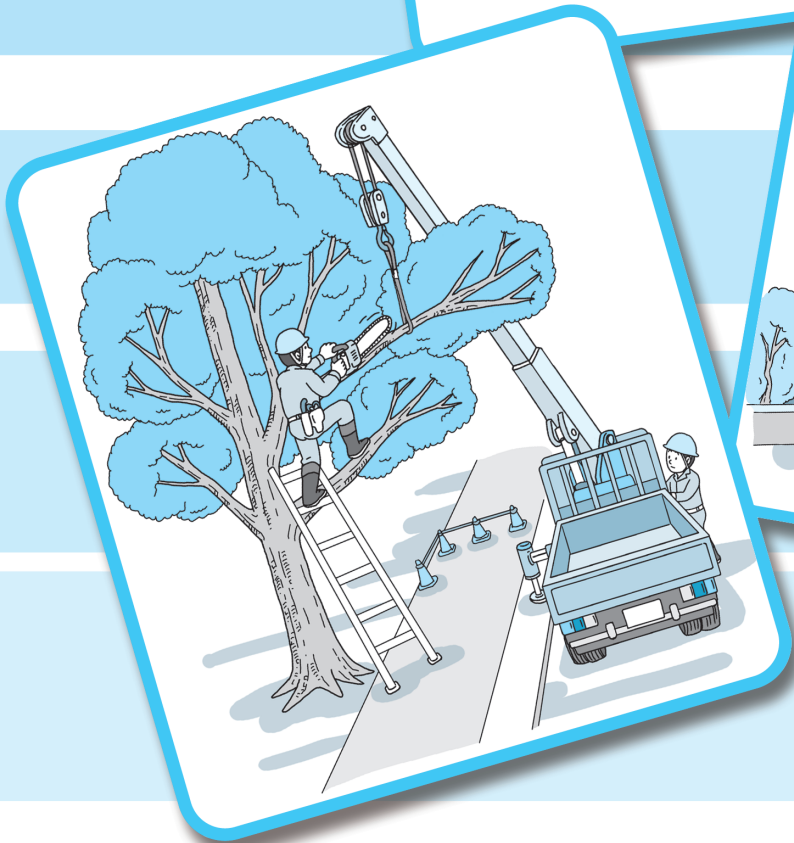
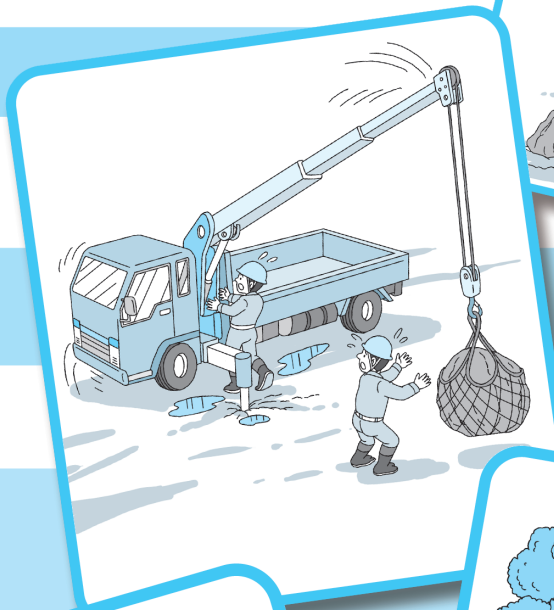


ヒヤリ・ハット事例集



はじめに



建設業における労働災害の発生は長期的には減少傾向にありますが、平成22年以降は3年連続で増加しているなど、厳しい状況が続いております。

このような状況において、皆さんの自主的な安全管理活動と安全意識の高揚、労働災害の未然防止を図ることを目的に、ヒヤリ・ハット事例集を作成いたしました。

ヒヤリ・ハットは、結果として事故に至らず見過ごされてしまうことが多く、忘れ去られてしまいがちですが、「1件の重大災害が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがある。」というハインリッヒの法則のとおり、重大な事故が発生した際には、その前に多くのヒヤリ・ハットが潜んでいる可能性があります。そこで、作業現場等でおこるヒヤリ・ハットの情報を蓄積し共有することで重大な災害や事故の発生を未然に防止することにつながります。

このため造園連では、「ヒヤリ・ハット事例集」と題して、建設雇用改善推進助成金を活用し、組合員の皆様からお寄せいただいたヒヤリ・ハット事例をもとに、イラスト等を使いまとめました。安全管理活動など、労働災害の未然防止のために本書をご活用いただければ幸いです。

最後に、本書発行にご協力いただきました経営・労務・安全委員会の皆様をはじめ、参考事例を送付していただきました組合員の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成25年3月

社団法人 日本造園組合連合会
理事長 白 井 昇

もくじ

転落・転倒

傾斜地での三脚ぐらつき2

足場踏み外し2

U字溝踏み外し3

不安定な足場の三脚ぐらつき3

転倒4

死亡災害事例4

飛来・落下

道具の落下5

剪定枝のパウンド5

積み荷の落下6

剪定枝の落下6

草刈り

刈払機による小石のはね7

死亡災害事例7

玉掛け作業

吊り荷のワイヤーすべり8

樹木の積み込み8

ワイヤーの接触9

死亡災害事例9

機械関係

バックホウの積み込み10

バックホウ作業不注意10

アウトリガー沈み込み11

死亡災害事例11

その他

枝の吊し切り12

監視不注意12

ハチによる被害13

死亡災害事例13

造園業における死亡災害事例14

ヒヤリ・ハット事故報告書17

経営・労務・安全委員会

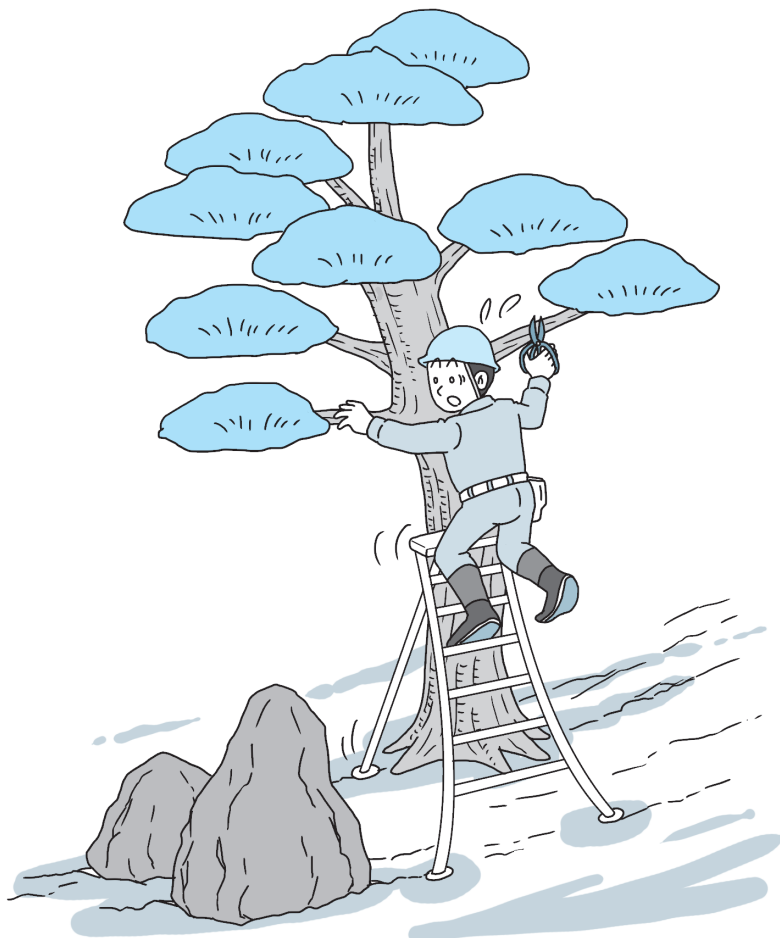
委員長：藤倉 榮之

副委員長：阿部 伍朗

委員：櫻井 貞夫 井上 剛宏 深見 静雄

専門委員：加藤 薫 奥原 正司 本田 壽 石川 一司

転落・転倒



傾斜地での三脚ぐらつき

■ 事例 ■

傾斜地で三脚に登りマツの剪定作業中、枝をつかもうと腕を伸ばしたところ三脚がぐらつき転倒しそうになった。

地面には庭石があった。

● 対策 ●

- ◆ 三脚が動かないように固定する。
- ◆ 安定した場所を確保する。
- ◆ 傾斜地では、地面の状況に注意を払い、作業を行う。



足場踏み外し

■ 事例 ■

マツの手入れ中、脚立と幹に足場板を架けその上で作業をしていたところ、足場板の端を踏んでしまいバランスを崩し転落しそうになった。

● 対策 ●

- ◆ 作業中も自分の立っている場所を常に意識する。
- ◆ 足場がぐらつかないように縄でしっかり固定する

転落・転倒



U字溝踏み外し

■ 事例 ■

樹木の枝おろしを行い、剪定ゴミの片付け時にU字溝があるのを忘れており、足を落として転びそうになった。

● 対策 ●

- ◆ 事前にU字溝があるかどうか確認する。
- ◆ カラーコーンなどでU字溝の場所を明確にしておく。
- ◆ コンパネ等で養生をする。



不安定な足場の三脚ぐらつき

■ 事例 ■

三脚に登り樹木の剪定作業をしているとき、三脚がぐらつき危うく落ちるところだった。

三脚の足が石の上に乗っており、不安定な状態での作業だった。

● 対策 ●

- ◆ 三脚の足元の養生をする。
- ◆ 三脚の据え付けは、段差のない平坦な場所に据え付ける。
- ◆ ヘルメットはもちろん三脚の頂部に乗らない等の基本的事項を徹底する。

転落・転倒

転 倒

■ 事 例 ■

庭木への水やり作業中、ホースが届かないために庭石の上から作業を行っていたところ、足を踏み外し危うく大怪我をするところだった。

周りには庭石が多数あった。

● 対 策 ●

- ◆ 不安定な足場で作業をしない。
- ◆ 安全な作業環境の確保を徹底する。
- ◆ 周囲の状況も作業前に確認する。



死亡災害事例

庭木の剪定作業を行うため敷地外の公道上に三脚を設置し、高さ3mの位置にある踏み面で作業を行っていたところ、一般の通行人が自転車で三脚に衝突し、衝突で三脚が倒れ作業員が転落した。

ヘルメットを着用していたが頭部を強打し、7日後に死亡した。



飛来・落下



道具の落下

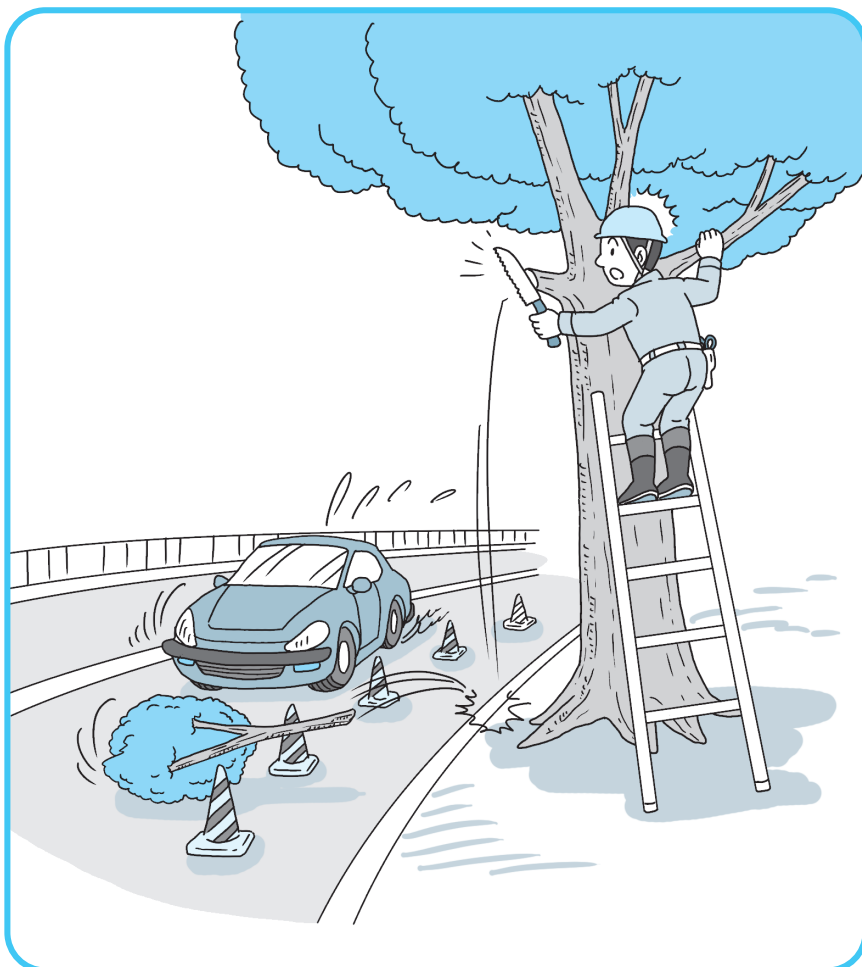
■ 事例 ■

高木の剪定をしていたとき、木に登っていた作業員のハサミが落下し、下で枝集めをしていた作業員の体をかすめた。

ハサミのケースが枝に引っかかり、ケースが逆さまになりハサミが落下した。

● 対策 ●

- ◆ 同時に上下作業をすることの禁止を徹底する。
- ◆ 周囲の状況を目視と声をかけ合って安全確認を怠らない。
- ◆ ハサミが落ちないように落下防止装置を利用する。



剪定枝のバウンド

■ 事例 ■

樹木の剪定作業をしていたところ、剪定した枝が地面でバウンドして車道に飛び出ってしまった。

剪定していた作業員は前日も剪定枝をバウンドさせている。

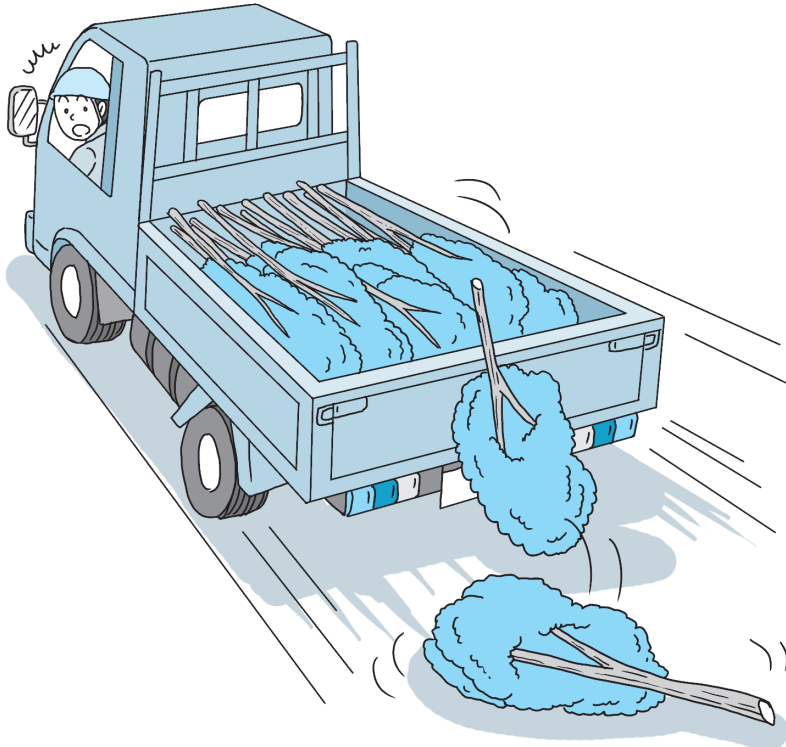
また、合図をせずに作業をしていた。

● 対策 ●

- ◆ 大きな枝はロープを使って下ろすようにする。
- ◆ 作業員の適性配置、安全教育を徹底する。
- ◆ 作業責任者の合図の徹底をはかる。

飛来・落下

積み荷の落下



■ 事例 ■

トラックの走行中、荷台に積んでいる剪定枝が風にあおられ路面に落下した。
後続車は来ておらず、2次災害は免れた。

● 対策 ●

- ◆ 走行前には積み荷の確認を行いロープを必ずかける。
- ◆ 多分大丈夫だろうという判断は絶対にしない。
- ◆ 長距離移動の場合は途中で積み荷の確認を行う。



剪定枝の落下

■ 事例 ■

剪定作業中、作業を中断して足元に落ちた枝を片づけていたところ、作業員の頭部に剪定枝が落下し直撃した。

作業員はヘルメットを付けていたためケガはなかった。

● 対策 ●

- ◆ 木から降りる際には、剪定枝の引っかかりがないかを確認して降りる。
- ◆ 剪定後の足元を片付ける場合は、もう一度剪定枝の引っかかりがないかを確認してから作業する。

草刈り



刈払機による小石のはね

■ 事例 ■

刈払機で草刈り作業をしていたところ、はねた小石が近くで作業していた同僚の顔をかすめた。

● 対策 ●

- ◆ 草刈り箇所の事前点検を行う。
- ◆ 石や空き缶など障害物の撤去を行う。
- ◆ ヘルメットはもちろん防護メガネ、マスク、すねあて等を着用する。
- ◆ 作業時には作業員の間隔をあけるようにする。



死亡災害事例

手押しタイプの芝刈り機を使用し作業中、芝刈り機が斜面で何らかの原因で転倒したところ、作業員の頭部が回転中の刃に接触したため、刃が頭部に刺さり死亡した。

玉掛け作業



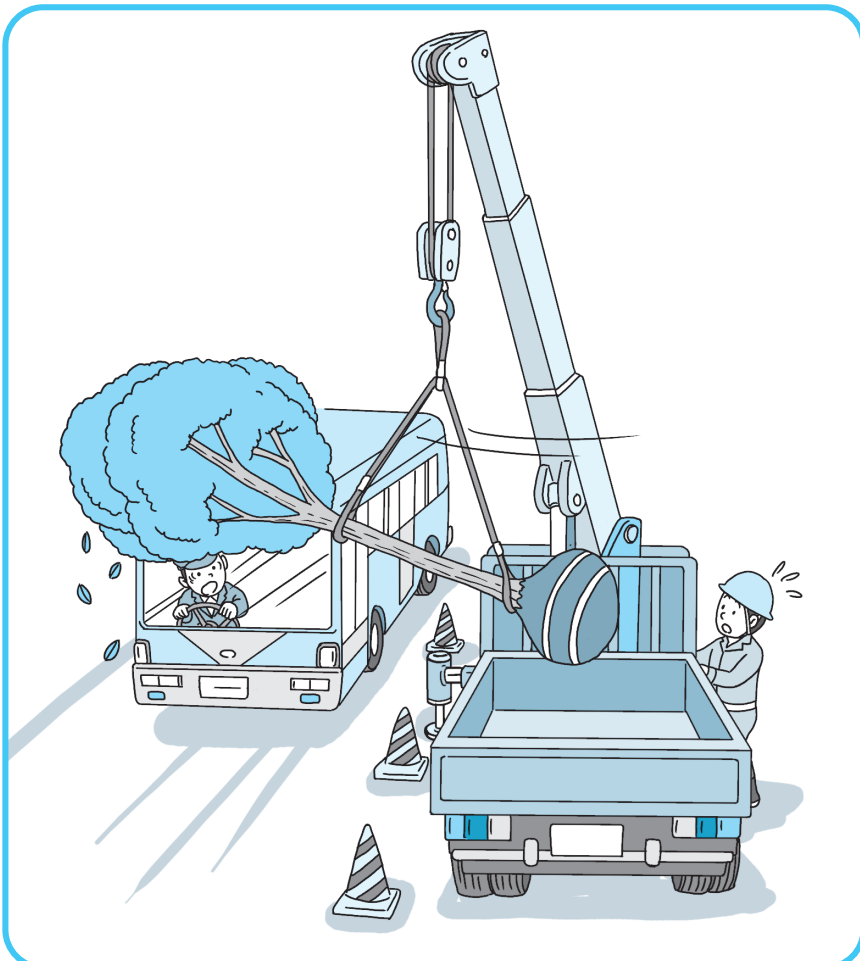
吊り荷のワイヤーすべり

■ 事例 ■

トラック積載型クレーンで石を吊りおろす際に、ワイヤーから石が外れ斜面を転げ落ち作業員のすぐ側を落ちていき大怪我をするところだった。

● 対策 ●

- ◆ 合図者を配置する。
- ◆ 斜面で石を吊り上げる場合は、下方に作業員は絶対に立ち入らないように周知する。
- ◆ 石の近くに人がいないようにする。
- ◆ 斜面に石を下ろす場合は、かませるものを準備する。



樹木の積み込み

■ 事例 ■

樹木をトラックに積み込む際に、横吊りしていた樹木が突風にあおられ車線にはみ出した。

走行中の路線バスに危うく衝突しそうになったが、葉がかすった程度でバスの屋根を通過した。

● 対策 ●

- ◆ 必ず誘引ロープを2本取り不測の事態に備える。
- ◆ 歩行者はもちろん通行車両の安全を徹底する。
- ◆ 事前の危険予知活動を十分に行う。

玉掛け作業



ワイヤーの接触

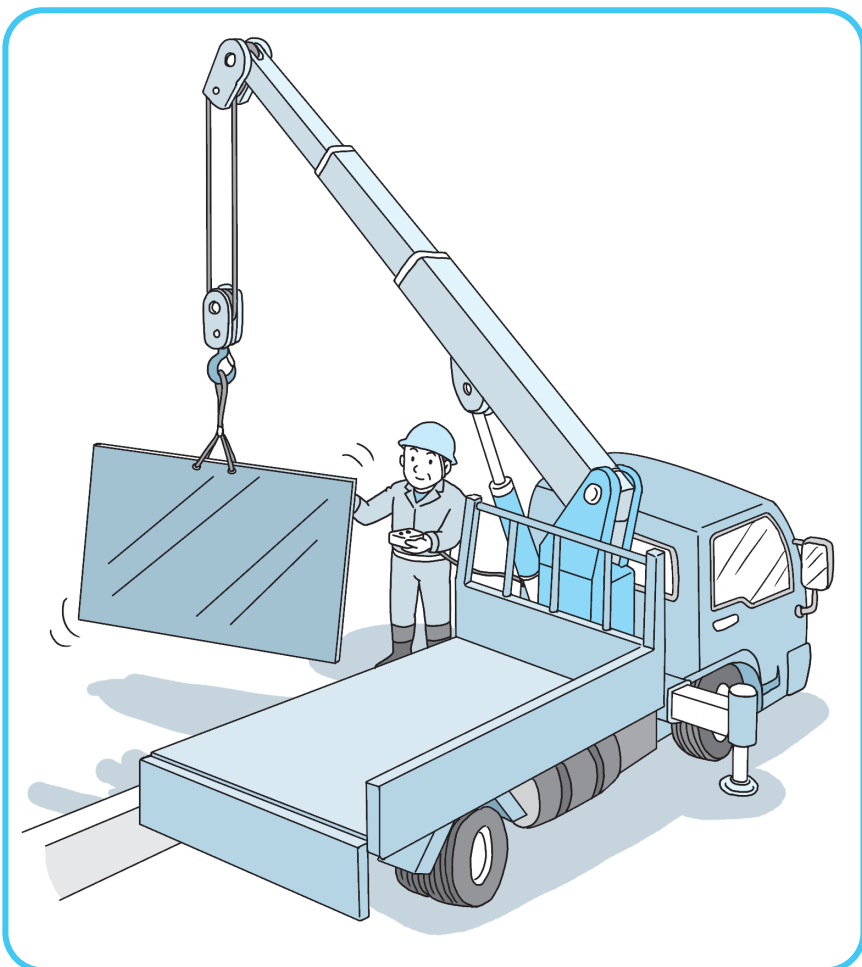
■ 事例 ■

自然石を縦吊り作業をしているとき、古い鋼管が露出していることを知りながら撤去せず、鋼管にワイヤーが触れ自然石が外れてしまい作業員の足元に落ちた。

危うく大怪我をさせるところだった。

● 対策 ●

- ◆ 作業範囲にある障害物はあらかじめ撤去しておく。
- ◆ リモコンの操作時は全てのものが見渡せる場所にいる。
- ◆ 重量物を長尺方向でワイヤー吊りをするときは、2点吊りで行う。



死亡災害事例

一人作業でトラック積載型クレーンをリモコンで操作しながら鉄板をトラックの荷台に積み込む作業中、吊り上げた鉄板の近くにいたところ、ワイヤーが突然切れ鉄板の下敷きになり作業員が死亡した。

機械関係

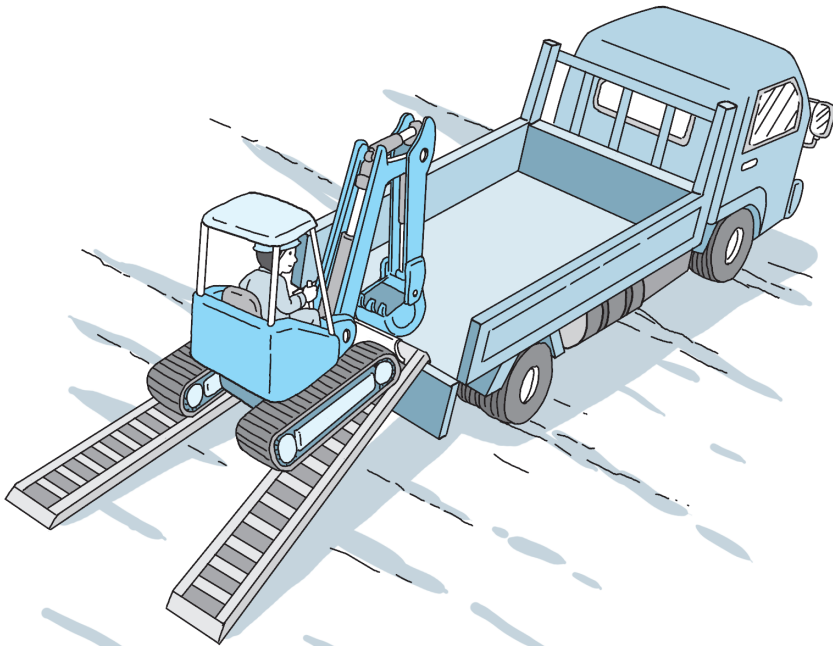
バックホウの積み込み

■ 事例 ■

傾斜地でミニバックホウを2トン車に乗せるとき、キャタピラが道板から外れそうになり、バックホウが転倒しそうになった。

● 対策 ●

- ◆ バックホウの積み降しは、必ず平坦な安定した場所で行う。
- ◆ 補助員を置いて一人作業をしないようにする。
- ◆ 道板をきっちりとはめ、機械がズレ落ちないように確認する。
- ◆ 専用車両を使うようにする。



バックホウ作業不注意

■ 事例 ■

バックホウにて掘削作業をしていたところ、旋回中に作業員と接触しそうになった。

● 対策 ●

- ◆ バックホウのオペレーターと作業員の合図を徹底する。
- ◆ 作業半径内の立ち入り禁止を徹底する。
- ◆ 作業ヤードの表示を明確にする。



機械関係



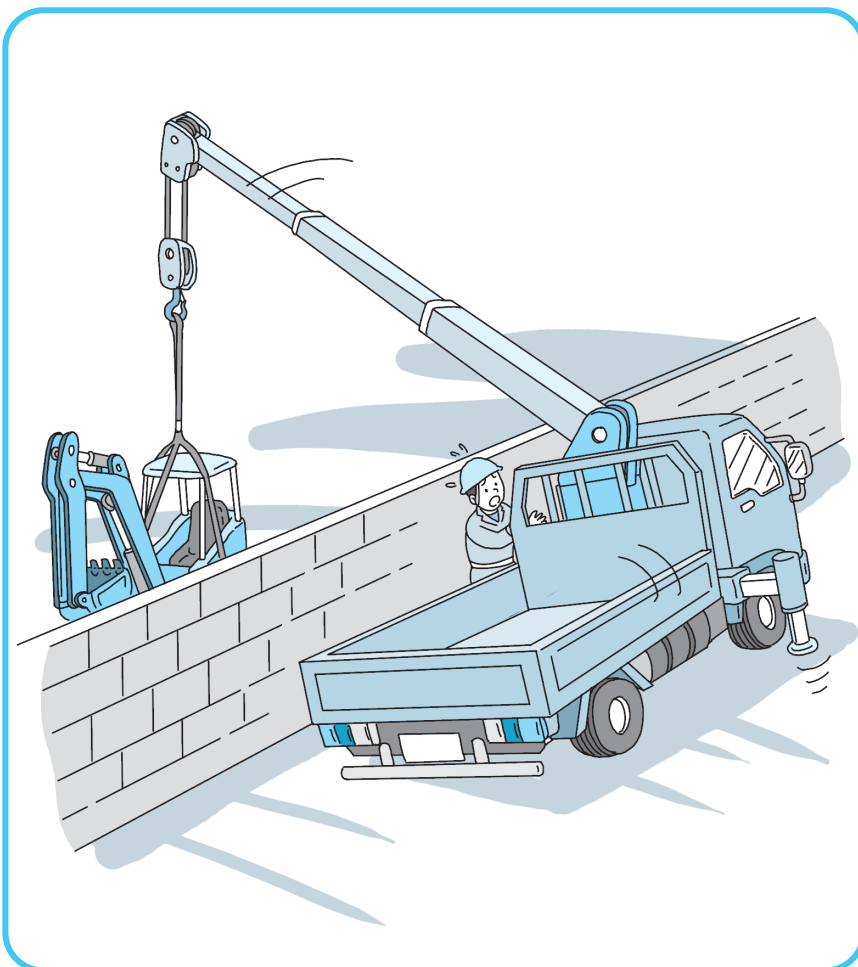
アウトリガー沈み込み

■ 事例 ■

トラック積載型クレーンで吊り荷をした際、アウトリガーが地面に沈み込み、車体がバランスを崩し転倒しそうになった。

● 対策 ●

- ◆ 最初にアウトリガーをおろす地盤の確認を行う。
- ◆ 鉄板などアウトリガーの敷き板を怠らない。
- ◆ 急ぎすぎたり慌てて作業をしないようにする。



死亡災害事例

植栽作業中、トラック積載型クレーンでミニバックホウを掘越しに吊りおろす際、遠方で吊り下ろしてしまったため、トラック積載型クレーンが傾き、トラック本体と塀の間に作業員が挟まれ死亡した。

その他

枝の吊し切り

■ 事例 ■

高木の枝を吊しながら枝降ろしをしていたところ、切った枝がロープの引っかかりにより予想外の方向に動き作業員に当たりそうになった。

● 対策 ●

- ◆ 作業員の方向に振れないよう、かいしゃくロープで反対側に引張っておく。
- ◆ 不安定な姿勢での作業には、チェーンソーを使用しない。
- ◆ 全体を監視する者の指示に従い作業する。
- ◆ 安全帯を使用して作業する。
- ◆ はしごの上部を固定する。



監視不注意

■ 事例 ■

剪定作業中、設置していたカラーコーンを超えて作業区域内に進入してきた歩行者に剪定枝があたりそうになった。
作業員は全員で剪定作業をしていた。

● 対策 ●

- ◆ カラーコーンだけでなくリングバー等を使い、確実に作業区域を設置し歩行者の進入を防ぐ。
- ◆ 地上に必ず誘導員を配置する。



その他



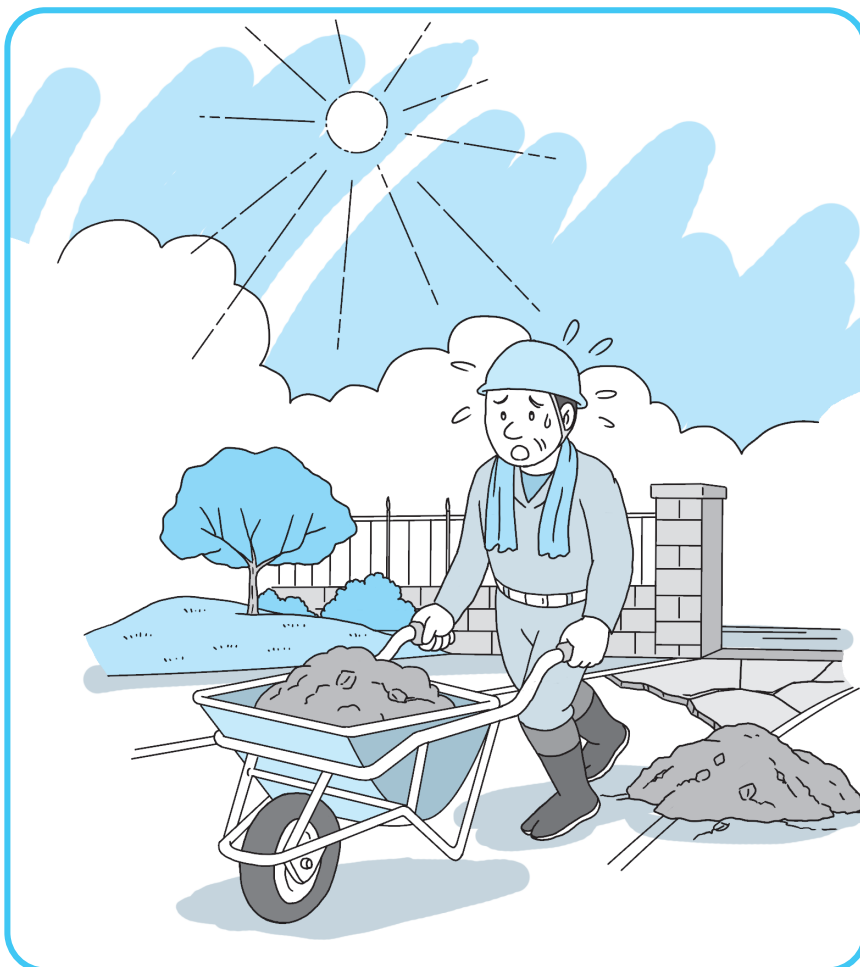
ハチによる被害

■ 事例 ■

剪定作業中、事前に蜂の巣があるかどうかを確認せず作業を行ったところ、スズメバチが多数飛んできた。

● 対策 ●

- ◆ 作業前に必ず蜂の巣があるかどうかの確認をする。
- ◆ 刺されたときに備えて解毒薬を携行する。
- ◆ 蜂の巣の処理が終わるまで作業しない。
- ◆ スズメバチの活動時期（夏期）は特に注意する。



死亡災害事例

当日の天気は晴れ、気温 32.3 度（当日の最高気温）、湿度 65%の中、屋外で門から玄関に至るアプローチに張り詰める石や苔などの資材運搬、石張りや苔張りの作業補助を行っていたが作業終了前の資材の片付け作業中に熱中症を発症し入院した。

翌日病院で熱けいれんを原因とする播種性血管内凝固により死亡した。

造園業における死亡災害事例（平成 22 年発生分）

	災害発生月	発生時間	事故の型	起因物	年齢	経験期間	災害の概要
1	1	14:30	墜落、転落	はしご等	54	3 年	脚立を使用し建物の雨樋の枯葉を除去中、転落して庭の置き石に頭部を打ち付け、脳挫傷により死亡。
2	2	13:15	墜落、転落	掘削用機械	58	25 年	フェンス整備工事においてドラグショベルを運転中、掘削端部の山が崩れ掘削部に転倒。運転席から約 1.7m 下の掘削部に墜落し死亡する。
3	3	9:15	激突され	整地・運搬・積込用機械	25	3 年	2 t トラックへのトラクターショベルによる碎石の積み込みを終え、トラックから降りて積み荷の状況を確認していたところ、後退してきたトラクターショベルに激突され、トラックとの間に挟まれる。
4	3	14:15	挟まれ、巻き込まれ	移動式クレーン	24	2 年	植栽作業中、移動式クレーンが傾き、クレーン本体と塀の間に挟まれる。
5	5	13:15	墜落、転落	立木等	36	17 年	ゴルフ場内で剪定作業中、脚立を使い幹を上り、枝を伝う際に約 5 m の高さからカート道に転落。くも膜下出血により死亡する。
6	6	10:25	挟まれ、巻き込まれ	締固め用機械	59	7 年	トラックの荷台からローラーを下ろすため、鋼製の道板を設置していたところ体勢を崩し仰向けに転倒。その上をローラーが通過し轢かれ、その後病院で死亡する。
7	7	14:20	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	29	1 年	緑地整備他工事現場において、伐採後の枝や丸太片付け作業中に倒れ、翌日熱中症により死亡する。
8	7	18:00	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	45	30 年	築庭作業終了前の片付け中に熱中症は発症して入院。翌日播種性血管内凝固により死亡する。
9	7	13:30	その他	その他環境等	63	20 年	樹木剪定作業中にハチに刺され、搬送先の病院で死亡する。
10	8	16:55	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	58	0 ヶ月	除草作業中、突然倒れて病院に搬送され、意識が戻らず 2 日後に死亡する。
11	8	15:50	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	34	0 ヶ月	剪定した枝とトラックに詰め込む作業を 8 時に開始し、15:50 ごろ倒れ、熱中症により死亡する。
12	8	14:07	転倒	作業床、歩み板	51	25 年	刈り込みバサミを持って移動中、転倒した際に左脇腹に刺さる。
13	9	10:40	墜落、転落	はしご等	61	5 年	樹木（高さ 3m）の剪定のため三脚梯子に上りトリマーを使用していたところ頭部から地面に墜落する。
14	9	9:20	交通事故（道路）	トラック	39	15 年	草刈り作業において走行車線で車輛の監視員として通行車輛への注意喚起をしていた際に、3 t キャリアカーに轢かれ、約 71m 引きずられる。
15	10	14:55	墜落、転落	はしご等			剪定作業中、自家製はしごの 1 m 37 cm 付近から転落し頭部を強打する。
16	10	12:00	飛来、落下	立木等	72	5 年	伐木作業中、かかり木状態になっていた杉の木が落下し、頭部に当たり流血する。
17	11	8:45	墜落、転落	はしご等	62	25 年	はしごに登り剪定作業中、約 2 m の高さから墜落し、頭部外傷により 3 日後に死亡する。
18	11	10:25	崩壊、倒壊	地山、岩石	75	5 年	ドラグショベルで掘った穴（3.1 m × 2.6 × 2.3 m）に入り、穴の角を出すため手掘りしているとき、約 2 m 離れた場所の土砂が崩壊し、足をすくわれ転倒。右肋骨 4 本、右肩骨折、腰骨欠損を負う。
19	12	11:10	墜落、転落	立木等	68	40 年	地面から約 5 m の高さの位置で剪定を行う枝に足を乗せ、安全帯をかけて作業していたところ、枝が折れて墜落する。
20	12	13:15	墜落、転落	はしご等	60	1 ヶ月	三脚式の脚立（高さ 3 m）を用いてイヌマキ（高さ 5.94 m）を剪定中に墜落し、死亡する。
21	12	8:20	墜落、転落	はしご等	65	14 年	公道上に剪定用脚立を設置し、高さ約 3 m の位置の踏み面で作業していたところ、一般の通行人が自転車脚立に激突し、墜落する。保護帽を着用していたが頭部を強打し、7 日後に死亡する。
22	12	15:20	挟まれ、巻き込まれ	掘削用機械	42	1 ヶ月	路面の泥を片付けていたところ、進行してきたドラグショベル道路脇の石垣に挟まれた。

造園業における死亡災害事例

	災害時の 作業内容	事故の型	起因物	年齢	経験 期間	災害の概要
1	ゴルフ場の芝 刈り作業	おぼれ	水	47	8 年	池の周囲の草刈り作業中、芝刈り機が池に落ちてしまい池を覗いた。その直後、同僚が溺れている被災者に気づき、救出しようとしたが時間がかかり死亡する。
2	除草作業中	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械	69	10 年	草刈り機（乗車タイプ）で除草中、操作を誤り草刈り機がバックしたため操作位置を離れたところを轢かれて、頭部、背中、足首等を回転刃で切られ、ショック性失血で死亡する。
3	剪定作業	感電	送配電線等	31	5 年	高作業車で作業中、作業車から手の届かない電柱に掛かっている枝を剪定除去するため電柱に昇って作業していたところ、伝染付属部に接触し感電、墜落する。
4	街路樹の土の 入れ替え作業	交通事故	移動式 クレーン	57	10 年	クレーン操作するため運転席側の窓越しにエンジンをかけたところ、移動式クレーン車が逸走し、3m前方で作業していた被災者を轢く。
5	現場管理	交通事故	乗用車、 バス、 バイク	40	3 年	道路脇で草刈り作業中、軽ワゴン車が作業箇所へ衝突し、元請けの現場代理人、一次下請けの作業員 2 名、軽ワゴン運転手の計 4 名が被災する。
6	剪定作業の 雑役	高温・低温の 物との接触	高温・ 低温環境	57	0ヶ月	剪定作業の補助、清掃を休憩を取りつつ行っていたが、午後4時30分頃、気分が悪くなり体が震え出す。
7	芝刈り作業	切れ、 こすれ	その他の 一般動力機械	66	6 年	手押しタイプの芝刈り機で作業中、芝刈り機が斜面で転倒し被災者の頭部が回転中の刃が突き刺さり死亡する。
8	樹木剪定作業	墜落、転落	その他の仮設物、 建築物、構築物等	63	24 年	高さ 0.9m、幅 1.2mの植木植栽帯状で刈り込みを行っていたところ墜落と推定。
9	芝刈り作業	墜落、転落	その他の 建設用機械	61	2 年	乗用型芝刈り機で作業中、深さ 3.5m、幅 3.6mのコンクリート製排水路の中で裏返しになった芝刈り機に下敷きになり死亡する。
10	庭木の剪定 作業	墜落、転落	はしご等	38	20 年	アルミ脚立を使用して剪定作業していたところ、高さ 1.3m前後の位置から転落して地面に頭部を強打し、死亡する。
11	庭木の雪吊り 外し	墜落、転落	はしご等	70	30 年	庭木に施されている雪吊りをはずすためはしごを登り、3 段目のところで墜落し頭部を強打し、14 時間後に死亡する。
12	立木の剪定 作業	墜落、転落	はしご等	65	7 年	高さ 2.5mの脚立を使用して剪定作業中、転落して脳挫傷のため死亡する。
13	樹木剪定作業	墜落、転落	はしご等	58	2 年	はしごに登って作業中、作業員が通過した際にはしごの開き止めに接触し 2mの高さからコンクリート地面に転落。2 時間 31 分後、急性硬膜下出血により死亡する。
14	庭木の剪定 作業	墜落、転落	はしご等	60	15 年	はしごを用いて剪定作業していたところ、バランスを崩し 5m下のコンクリート床に転落し、死亡する。
15	生垣剪定	墜落、転落	はしご等	62	3 年	高さ 3.3mのはしごに上がり作業していたが、コンクリート製の犬走りに転落し、まもなく死亡する。
16	庭木の手入れ	墜落、転落	はしご等	68	25 年	脚立の高さ96～129cmから墜落し、脳挫傷により入院加療していたが死亡する。
17	庭木の剪定 作業	墜落、転落	はしご等	68	40 年	3.3m のはしごの上部で剪定作業中、歩道を通行した自転車が接触し墜落、頭部外傷により 9 日後に死亡する。
18	樹木剪定作業	墜落、転落	はしご等	62	2ヶ月	脚立を使用し剪定中、立ったままの姿勢から木にもたれかかり、その後転倒。5 日後の脳挫傷で死亡する。作業中にくも膜下出血を起こしたと推測される。
19	樹木の刈り 込み	墜落、転落	はしご等	40	3 年	脚立 2.5mの高さからコンクリート道路に転落し、頭部を強打し意識不明となる。11 日後に死亡する。
20	樹木剪定作業	墜落、転落	はしご等	63	40 年	剪定作業中脚立から転落。翌日に死亡する。
21	庭木剪定作業	墜落、転落	はしご等	62	2ヶ月	剪定作業においてはしごを使用中、1.86mの箇所から墜落し、コンクリート面に頭部を強打し、死亡する。
22	樹木剪定作業	墜落、転落	はしご等	64	10 年	剪定作業中使用していた脚立が開き、1.67mの高さから墜落する。その際腰ベルトホルダーの剪定手鋏の握り手部分が右下脇腹を直撃し、肝臓破裂による出血で死亡する。

	災害時の 作業内容	事故の型	起因物	年齢	経験 期間	災害の概要
23	庭木剪定作業	墜落、転落	はしご等	64	1 年	はしご（高さ 1.96m）から下りようとした際に足を滑らし墜落し、地面にあった飛石に頭部を強打する。
24	芝刈り作業	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	58	5 年	屋上庭園で芝刈り作業中、後ろ向きで移動していて屋上端のパラペットに躓き 7m 下のアスファルト道路に墜落する。
25	植栽の剪定	墜落、転落	建築物、構築物	63	10 年	6 階ビルの 5 階セットバック部分で剪定作業中、ツタに足をからませ、3.19m 下のテラスに墜落する。
26	庭木剪定作業	墜落、転落	建築物、構築物	52	0 年	高さ 3m の塀の上で剪定作業中に墜落する。入院先の病院で死亡する。
27	清掃	墜落、転落	建築物、構築物	68	2 年	高さ 1.15m の生垣から 3m 下の道路へ切り枝等を落としていたところ、道路へ墜落する。
28	樹木剪定作業	墜落、転落	建築物、構築物	23	3ヶ月	剪定作業中、土止から足を滑らせ後方に転落し、持っていた剪定鋏が右胸に突き刺さる。
29	除草作業	墜落、転落	建築物、構築物	73	6 年	のり面植栽されている樹木まわりの草取り作業中、1.8m の L 型よう壁よりアスファルト面に転落。後頭部を打撲し、4 日後に死亡する。
30	除草作業	墜落、転落	作業板、歩み板	61	5 年	土手上で草刈り作業中、5m 下のコンクリートテラス上に転落し、翌日外傷性脳挫傷のため死亡する。
31	生垣剪定	墜落、転落	手工具	25	2 年	剪定作業中、脚立（高さ 1.5m）から墜落し、剪定鋏が体に対して直角、刃は上向きに突き刺さり、外傷性血気胸（肺両側）及び外傷性肺挫傷（肺左側）により死亡する。
32	芝刈り作業	墜落、転落	地山、岩石			草刈り作業中、こう配 47 度の急斜面から約 11m 下に転落する。
33	芝刈り作業	墜落、転落	地山、岩石	26	6 年	傾斜 30 度ののり面を芝刈り機で作業中、斜面をアスファルト道まで約 31m 転落し、胸部を打ち付ける。
34	高木支障木剪定	墜落、転落	立木等	24	2 年	高木剪定中、枝を切ったあと約 19m 下の池に墜落する。
35	立木剪定作業	墜落、転落	立木等	45	2 年	剪定作業中に乗っていた枝が折れ、4.9m 下の地上に落下し、脳挫傷により死亡する。
36	街路樹剪定	墜落、転落	立木等	73	13 年	剪定作業中、街路樹（高さ推定 5.3m）から真下の道路へ墜落する。
37	立木剪定作業	墜落、転落	立木等	62	19 年	剪定している樹木（高さ約 6m）から墜落し頭部を強打する。翌日に死亡する。
38	樹木剪定作業	墜落、転落	立木等	68	8 年	剪定している樹木（高さ約 5.5m）から枝が折れて塀の外の道路（家の敷地と道路の段差約 1.5m）に墜落し左頭部及び胸部を打ち負傷する。10 日後に死亡する。
39	樹木剪定作業	墜落、転落	立木等	50	32 年	高さ 6.3m の高さにはしごをかけ剪定中、作業位置から転落し、高さ 1.9m のコンクリート塀に衝突したあと地面に墜落する。
40	樹木剪定作業	墜落、転落	立木等	36	20 年	剪定作業中に乗っていた枝が折れて、12m 下の地上に墜落する。
41	庭木剪定作業	墜落、転落	立木等	73	6 年	剪定作業中、駐車場アスファルト面に墜落し、頭部を打撲して死亡する。
42	枝おろし作業	墜落、転落	立木等	72	35 年	枝おろしをする際に、足場になっていた高さ 7.7m の枝から足を滑らせ地上に墜落し、死亡する。
43	樹木剪定作業	墜落、転落	立木等	63	40 年	剪定作業中に、高さ 4.6m の枝から墜落し、一時間後に死亡する。
44	街路樹剪定	墜落、転落	立木等	60	4 年	剪定作業中に、高さ 4.6m の枝から墜落し、死亡する。
45	穴掘り作業	崩壊、倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	64	2 年	庭石（高さ 1.5m、巾 1m、厚さ 0.7m、重量推定 2.4 t）の際をスコップで穴を掘っていたところ（径 2.1m、深さ 2m）、庭石が倒れ、下敷きになる。

ヒヤリ・ハット事故報告書

(1) いつ	年 月 日 () 時 分頃
(2) だれが	従業員 ・ 協力会社従業員 (どちらかを○で囲む)
(3) どこで	
(4) ヒヤリ・ハットの内容	人的事故 ・ 物的事故破損 ・ 両方ともない (どれかを○で囲む)
① 何をしていた : ときに	
② どうして :	
③ どうなったか :	

監督者が記入	(5) 職場では :		
	こうする		
	(6) 職場検討で :		
	決めたこと		
	(7) 対策完了 :		
		月 日完了 /	月 日迄に完了予定
原因追求	不安全状態	1. 起因物自体の欠損 3. 物の置き方 4S の不足 5. 保護具、服装の欠陥 7. その他	2. 安全防護の不足 4. 作業環境の欠陥 6. 不適当な治工具の使用
	不安全状態	1. 規律無視の行動 3. 共同作業の欠陥 5. その他	2. 点検確認の不足 4. 第三者の不安全行為
	管理者欠陥	1. 管理者の指導不足 3. 安全作業基準書不備	2. 監督者の指示不足 4. その他
予想される事故の型		1. 墜落・転落 2. 転倒 3. 激突 4. 飛来落下 5. 崩壊・倒壊 6. 激突され 7. 挟まれ・巻き込まれ 8. 切れこすれ 9. 踏み抜き 10. おぼれ 11. 高温・低温・有害物 12. 感電・爆発・破裂・火災 13. 交通事故 14. 無理な動作 15. その他	

課 長	係 長	職 長	

記入者氏名	
-------	--



社団法人 日本造園組合連合会

事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-3-2 マツシタビル 7 階
TEL. 03-3293-7577 FAX. 03-3293-7579
URL <http://www.jflc.or.jp/> E-MAIL jflc@sepia.ocn.ne.jp